



— 主題 —

- 西宮クラブ会長 「一期一会 小さなことをコツコツと」 廣瀬一雄
 EMC事業主査 「まず足元を見つめなおすことから始めよう！」 濱 浩一
 六甲部部长 「寄り添い、分かち合い～三方よして、みんな笑顔」 大野智慧
 西日本区理事 「未来への挑戦」
 「羽ばたこう！2022年ワイズ100周年に向かって！」 新山兼司
 アジア会長 「100年を超えて変革しよう」
 スローガン「健康第一」 大野 勉
 国際会長 「世界とともにワイズメン」
 スローガン「愛と尊厳で世界をいやそう」 Kim Sang-Chae

2021年
12月

884号
(75期6号)

12月 西日本区強調活動

- CE 「お互いに共に愛し合い、奉仕しましょう。」ワイズの活動は、愛をもって、奉仕活動することです。奉仕される人を思いやり、寄り添い活動しましょう。川口恵 クリスチャニティー委員長（名古屋）
 H 2022年はワイズメンズクラブ国際協会の創立100年です。先人に思いをはせるとともに、新たな歴史を築いていきましょう。 濱田勉 ヒストリアン（奈良）

西宮ワイズメンズクラブ 2021年クリスマス祝会

- 日時：12月18日(金) 開会 18:00 (受付 17:30～)
 会場：カクチーナケインカント
 ドライバー：清水メン、濱メン
- | | | |
|----|----------------|--|
| 1 | 開会挨拶・開会点鐘 | 廣瀬一雄会長 |
| 2 | ワイズソング | 一同 |
| 3 | ゲスト・ビジター紹介 | 廣瀬一雄会長 |
| 4 | クリスマスメッセージ | |
| | 日本キリスト教団 夙川東教会 | 橋本かおり牧師 |
| 5 | 会食 | |
| | 食前感謝・乾杯 | 山口政紀メン |
| 6 | ジャズライブ | 柏谷敦 sax
李祥太 pf
時安吉宏 ba
永山洋輔 dms |
| 7 | お誕生日のお祝い | 廣瀬会長 |
| 8 | ワイズニュース | 廣瀬会長 |
| 9 | YMCA ニュース | 藤田担当主事 |
| 10 | アピールタイム | |
| 11 | 閉会挨拶・閉会点鐘 | 廣瀬会長 |

HAPPY BIRTHDAY

- 1日 馬場めぐみメネット 8日 山口まり子メネット

今月の聖句

「はっきり言っておく。だれでもこの山に向かい、『立ち上がって、海に飛び込め』と言い、少しも疑わず、自分の言うとおりになると信じるならば、そのとおりになる。」

マルコによる福音書 11章 23節
馬場一郎メン選

11月出席状況 (在籍会員数 22名)

第一例会 (12金)	第二例会 (26金)
メン 19名	メン 11名
メネット 0名	メネット 0名
ゲスト 1名	合計 11名
MU 1名	
合計 20名	出席率 90.9%

ファンド

	11月	累計
ニコニコファンド	¥3,000	¥13,000
BF@300	¥4,500	¥12,000
震災支援@200	¥3,000	¥8,000

主役員

- 【会長】廣瀬一雄 【直前会長】万本敬一 【副会長(次)】濱浩一 【副会長】石井恭子
 【書記】小野勅紘, 山口吉郎 【会計】重村仁, 濱崎進一 【監事】阪根新, 山口政紀
 【EMC主査】濱浩一 【LD委員】馬場貴英 【組織検討安全対策委員】山口吉郎 【担当主事】藤田良祐

会長メッセージ

会長 廣瀬一雄



11月23日にしあわせの村に行きました。皆さんよくご承知のチャリティランが久しぶりに開催されました。六甲部の記念植樹に出席のためでしたが、石井メンは競技にも参加してくださいました。メールや第二例会でも報告させていただきましたが、芦屋クラブの大岩メンのビデオで植樹式の雰囲気を感じて頂けたと思います。

今般、初めて神戸駅前から阪急バスに乗り一人旅？を。11時の開始とのことで早く到着したので時間待ちにとトラックを散策。途中マスク姿の神戸西の加茂メンにお出会い。お久しぶり、から始まり、あれやこれや。しあわせの村にはよく来られているようで、2年前に運転免許を返納してからはバス。乗り継ぎの関係でご自宅から1時間半も掛かるときもあるとか。トラックの背景の山も紅葉はすでに終わったとのこと。でも日本庭園ではまた眺めるでしょう、とお聞きしました。そこで急遽現地にひとつ走り？晴れ着姿の若いカップルがこちらと、あちらの池の袂に。映えますねえ！

みとれていたらもう時間ですよ。踵を返して慌ててさくらの若木のもとに。いけない・いけない、水野部書記の式次第が始まりかけているではありませんか。



11月第一例会報告

馬場一郎



11月12日（金）、対面とオンラインのハイブリッドで例会を開催しました。今回は神戸 YMCA 総主事、井上真二さんに来ていただき、「神戸 YMCA の現状とこれから」と題してお話をいただきました。もともと井上総主事が報告のために出席されるということでしたので、それならぜひ神戸 YMCA の現状をお話しいただきたいとお願いしての例会になりました。コロナ禍の中、事業が縮小され、経営が大変になる中、実際の神戸 YMCA の現状を報告いただき、西宮ワイズとして何ができるのかを探りたい、という思いからお願いしました。



井上総主事のお話は、神戸 YMCA の全体報告、ファミリーウエルネスセンターの件、西宮 YMCA のこと、そしてポジティブネット募金の報告と御

礼でした。最初に 2010 年からの財政危機、2013 年～17 年にかけての三宮再開発事業、その中でファミリーウエルネスセンターの運営について話され、厳しい経営状況でゴールドジムへの事業継承を行うことも発表されました。

また西宮 YMCA の歴史にふれられ、新会館の建設、ファミリープログラムと進学教育、先駆的な事業として LD クラスの拡充、震災を経て、その後 2003 年からの保育園、その後の学童保育の受託・・・これからも子育て支援の拠点としての働きを増していきたいことを話されました。

最後にワイズメンズクラブ六甲部の大きな支援をいただいたポジティブネット募金について、御礼と共にその用途を報告されました。

コロナ禍の中、私たちにできることは限られています。神戸 YMCA が厳しい財政の中にあってもその精神と理念を失わず、これからも進んでいってほしいと願うばかりです。

出席者は浅野、足立、石井（Zoom）、岩田、岡田、小野、重村、西山（ドライバー、司会）、馬場一郎（ドライバー）、馬場貴英（Zoom）、濱、濱崎、廣瀬、藤田、藤原、丸山（Zoom）、万本、山口吉郎、山本 各メン（19名）でした。

白鳥<シラトリ>はかなしからずや・・・ハクチョウの話

藤原俊夫

「冬の使者」と言われる白鳥、その南限越冬地が兵庫県にあるらしいことをご存じでしょうか？毎年、福崎・加西・小野などの「ため池」に来てくれます。

日本に冬鳥として渡ってくるハクチョウは2種類あり、サイズの違い等から「オオハクチョウ」「コハクチョウ」と呼ばれています。伊丹の昆陽池で繁殖しているハクチョウは「コブハクチョウ」といい、飼い鳥が野生化したもので、くちばしの付け根に黒いコブのあるのが特徴ですが、オオハクチョウもコハクチョウもコブのないシュツとした顔立ちをしており、まだ見たことのない方には是非一度ご覧になってほしい野鳥です。



オオハクチョウは青森の小湊では「特別天然記念物」に、新潟の瓢湖では「天然記念物」に指定されていますが、兵庫県では少数ながらオオハクチョウもコハクチョウも来てくれます。また琵琶湖まで足を伸ばせばコハクチョウの大群をみることができ、湖北野鳥センターが HP で琵琶湖全体の飛来数を発表していますが、雪が積もったあとの青空を背景に群れで飛ぶ姿はとても美しい光景です。



ところで大阪府・羽曳野市の名前の由来をご存じでしょうか？伝説によると、ヤマトタケルは大和朝廷による全国統一のため東征した帰り、伊吹山の神との戦いに敗れ、大和に戻る途中、伊勢の能褒野<ホノ>で没し、その地で葬られるのですが、その魂が白鳥<シラトリ>に姿を変え西に向かって飛び立ったそうです。最初は和歌山の琴引原<トビキハラ>に降り立ちますが、再度飛び立って次に河内の旧市邑<フルチム>に舞い降りました。それからこの白鳥が植生<ウツク>の丘を羽を曳くように飛び立ったと言われることから、1959年1月15日、南大阪町が市制に移行する際、羽曳野市と称したそうです。「カワチ」の印象とは随分違ったロマンチックな話ではありませんか？

卒園時の保護者の思い

馬場一郎

昨年、保育園の卒園式前、保護者のみなさんにアンケートをしました。「子どもたちにどんな人になってほしいですか」という質問です。以下のようなお答えをいただきました。



- ・自分を好きな人、好きなもの、好きなことを大切にできる人、そんな自分の毎日を好きになれる人になってほしい
- ・自分の意思をしっかり持った人、困った人がいたら手を差し伸べられる人になってほしい
- ・健康で幸せを感じられる人、感謝の心をもって、自信と夢を持って、どんなことがあってもあきらめず、向かっていく人になってほしい
- ・努力する人、やさしい人、いっぱい知識を持って自分らしく生きることができる人になってほしい
- ・すなおな笑顔はそのまま、まわりの人も大切にできる人になってほしい
- ・強く、やさしく、自分もみんなも笑顔にできる人になってほしい
- ・自立した大人、まわりの人と助けあい、自分で考え、人生に楽しみと目標をもって暮らせる人になってほしい
- ・自分のまわりにいる人にやさしくできる人、自分の好きなことを見つけて、そのことについてたくさん考えてほしい
- ・いろいろなことにチャレンジ、どんな時も負けない強い心を持ってほしい
- ・たくさんの人に愛される人になってほしい、なれるよ
- ・将来社会に役立つ人になることを願っています
- ・たくましく、元気に育ってほしい、弱きものを助け、人の痛みがわかる人になってほしい

子どもたちは卒園し、小学校に行き、中学校、高校と進みます。あつという間に成長します。ひとつの大きな節目である保育園の卒園式の時に、保護者のみなさんは、こんな人になってほしいと願っています。やさしい、強い、人の痛みがわかる人に。いいでしょ！

YMCA ニュース

担当主事：藤田良祐

早いもので2021年も残すところ1ヶ月となりました。西宮市の育成センターでは12月1日から2022年度の利用申請受付がスタートしています。YMCAが運営する育成センターでも新1年生（現在の幼稚園・保育園の年長）の利用申請受付を開始しました。来年の4月1日には小学校の入学式もまだ迎えていない子ども達が育成センターを利用することになります。ほとんどの子ども達は前日の3月31日まで保育園を利用していますので、大きな環境の変化に戸惑う子ども達も少なくありません。少しでも子ども達が安心して保育園から育成センターへ生活の場を移すことができるよう、各育成センターの近隣にある保育園と交流の機会を持っていましたが、昨年はコロナの影響により十分な交流の機会が持てませんでした。今年も感染状況が落ち着いたかと思えば、新たな変異株の登場が報じられているため、保育園との交流は難しくなっていました。育成センターでは3学期にかけて現在の3年生を送り出すことに加えて、新1年生をどのように迎えるのかを子ども達と話し合っていきます。新たな生活の場に不安を抱える新1年生にとって一番頼りになるのは、新2・3年生の存在です。彼ら彼女らもまた不安を抱えて入所してきた経験を思い出しながら、人にしてもらいたいと思うことを人にする経験を積みます。年が明ければいよいよ年度末。一人ひとりの子ども達の学年が1つ大きくなるだけでなく、心が豊かに育まれる機会になるよう丁寧に関わっていくことができればと思います。

1. 第23回神戸YMCAチャリチーラン

11月23日（火・祝）秋晴れの空の下、しあわ

せの村で神戸 YMCA チャリティーランが行われました。今年はオンラインとリアル両方で参加が



可能な方法をとって開催しました。リアル参加となるしあわせの村には約 150 名の方々が集い、それぞれに 3.5km もしくは 1.2km のコースを走ったり、歩いたりして秋の 1 日を過ごしました。西宮 YMCA からは、サポートプログラムのメンバーが参加し、3.5km のランに参加しました。コロナの影響はあるものの、リアルに人々が集い、共に身体を動かす喜びに触れる機会になったのではないかと思います。チャリティーランには西宮クラブの皆様からもご支援をいただきましたこと、改めて感謝申し上げます。支援金総額等の詳細は改めて報告させていただきます。

2. 西宮 YMCA 会館外壁工事

西宮 YMCA 会館（保育園を除く）の外壁工事を 12 月 4 日～27 日の予定で行います。西宮 YMCA の会館は外壁が煉瓦タイルで覆われていますが、補修が必要な部分がないかの調査を行い、必要に応じてタイルを張り替える工事を行うこと



になりました。期間中は会館の周りに足場が組まれることになり、車は会館の前に駐車できなくなります。ご不便をおかけすることがあるかと存じますが、ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。年明けには外壁が少し新しくなった西宮 YMCA へお越しください。

ワイズニュース

【今後の予定】

- 12月6日（月）デジタル小委員会 廣瀬メン
- 12月18日（土）クリスマス例会
カクチーナ（香櫨園）にて開催
メッセージは夙川東教会の橋本牧師
- 12月18日（土）14:00～15:40
市民クリスマス 宝塚ベガホール 宝塚クラブ
- 12月24日（金）第二例会 西宮Y 15:00
- 1月14日（金）1月第一例会 19:00-21:00
ドライバー：阪根メン、重村メン
- 1月22日（土）16:00～18:30
六甲部新年合同例会
須磨温泉臨水亭（神戸市須磨区）
- 1月28日（金）第二例会
- 1月29日（土）西中国部会 岩国・半月庵

1 1 月第二例会 抜粋記録

- 今後の例会の持ち方について 12/24 第二例会で協議する。
 - ①ハイブリット形式を継続するか
 - ②会場場所、食事の有無
 - ③第二例会の開催時間
- 12/18 チャリティ市民クリスマス（宝塚クラブ）
支援金:1万円 承認
- 1月第一、第二例会の日程、時間を変更する。
（上記ワイズニュースの通り）

六甲部 ワイズメンズクラブ 100周年記念植樹



<編集後記>

ブリテン委員長 山口吉郎
今月のクリスマス祝会の会場カクチーナは、まん延防止措置適用で中止となった8月納涼例会のリベンジとなります。恒例のクリスマスメッセージとジャズライブと美味しいイタリアン料理で楽しみたいですね。長らく食事なしの質素な例会が続いてますので、久しぶりに盛大にお祝いいたしましょう。オミクロンが暴れだす前に・・・。

今月は2名の方に寄稿いただきました。藤原俊夫さんから鳥シリーズ第2弾「ハクチョウの話」。馬場一郎メンから「卒園児の保護者の思い」を寄せていただきました。ありがとうございます。

